

## 1. 趣旨

平成20年度文部科学省政策評価実施計画に基づき以下の事業評価を実施。7月中～下旬に「政策評価官房ヒアリング」を実施。

### (1) 新規・拡充事業評価（事前評価）

平成21年度概算要求における新規・拡充事業のうち、社会的影響が大きいと想定されるもの又は予算規模の大きいものを対象に、事業の必要性・有効性・効率性、得ようとする効果等について事前評価を実施（108事業（新規44事業、拡充65事業※））。 ※新規・拡充重複を含む

### (2) 達成年度到来・継続事業評価（事後評価）

「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」等における「成果重視事業」に登録されている事業について事後評価を実施（1事業）。

### (3) 税制改正に関する評価（事前評価）

平成21年度に予定している税制改正のうち、社会的影響が大きいと想定されるものを対象に、税制改正の必要性・有効性・効率性、得ようとする効果等について事前評価を実施（3件）。

## 2. 主な改善点

### (1) 評価票や評価形式を改善し、内容を把握しやすくした

#### ○全体の構造について

- ・事業の概要に関する部分と、評価に関する部分を明確に区分
- ・有識者からの指摘等について記述する部分を新設

#### ○事業の概要に関する部分について

- ・事業のアウトカム指標と、目標の達成度をできるだけ測定できるような指標について、記述する欄を新設
- ・事業のスキームが容易に理解できるような図を記述する欄を新設

#### ○評価に関する部分について

- ・必要性、有効性、効率性等について、できるだけ具体的な小項目を欄として明確に記述
- ・国の関与の必要性や地方との役割分担、費用対効果や代替手段との比較等について明確化

### (2) 新たに税制改正に関する評価を実施